

第40回： 環境・生態系の評価 —理論と事例—

開催日： 2000年11月10日（金）～11日（土） / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： ある地域の環境や生態系を保護したり保全、修復する場合、その価値を評価し、保全や修復することの正当性を明示することが、現在、行政や環境保全サイドに求められています。また、ある地域で開発計画がある場合、もとの環境・生態系の価値と開発によってもたらされる便益との比較から開発計画の是非が議論されることが最近多くなってきました。このような状況の中、環境や生態系の価値あるいは健全度をどう評価すればよいのかということに関心が集まっています。今回のセミナーではさまざまな観点からの環境・生態系の評価方法に関して第一線で研究されている講師をお招きし、基礎理論・考え方と評価事例を講演していただきます。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 環境アセスメントにおける環境・生態系評価 —手法と事例—（亀元宏宣／京都大学大学院農学研究科）
- 森林の環境保全機能の評価 —水量と水質の視点から—（大手信人／京都大学大学院農学研究科）
- 環境・生態系の経済的評価 I — 生物多様性の価値を対象として —（嘉田良平／京都大学大学院農学研究科）
- 生物多様性からみた農地生態系の評価— レッドリスト水田生物保全の現場を例に—（日鷹一雅／愛媛大学農学部附属農場 農業生産管理学研究室）
- 環境・生態系の経済的評価 II — CVM—（栗山浩一／早稲田大学政治経済学部）
- 生物群集の種組成に基づく河川環境評価（加藤和弘／東京大学大学院農学生命科学研究科附属 緑地植物実験所）
- 魚類生息場としての河川環境評価（中村俊六／豊橋技術科学大学建設工学系）
- 生態学的視点に立った沿岸海域の環境評価（中田英昭／長崎大学水産学部）